

令和4年度

# 事業報告書

松風の里

## 目次

1．寄附	1
2．施設入所支援	1
2-1．利用者の状況	1
2-2．利用者の動向	3
2-3．利用実績	3
3．生活介護	3
3-1．通所利用者の状況	3
3-2．利用実績	4
3-3．日中活動	5
3-4．保健衛生	6
3-5．行事	8
3-6．外出	8
3-7．自治会活動	9
4．短期入所・日中一時支援	10
4-1．短期入所	10
4-1-①．利用者の状況	10
4-2-②．利用実績	11
4-2．日中一時支援	11
4-2-①．利用者の状況	11
4-2-②．利用実績	12
5．給食	12
6．防災・防犯	14
6-1．災害防護訓練	14
6-2．防犯対策	14
7．職員の配置状況	14
8．職員研修	14
9．ボランティアの受け入れ	15
10．視察・研修・慰問の受け入れ	15
11．実習の受け入れ	16
12．保護者会活動	16
13．苦情相談	16
14．事業計画に対する評価	17

令和4年度  
事業報告

創立27年を迎えた令和4年度の松風の里は、前年度に引き続き施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援事業、共同生活援助の5事業を展開した。

施設入所支援、生活介護において、サービス等利用計画および個別支援計画を根拠に工夫しながら支援した。65歳を超える利用者ならびに若年性認知症を発症した利用者について、要介護度の認定を済ませ、今後の生活について身元引受人と検討した。31名の重度障害者支援加算（Ⅱ）の対象者には支援手順を更新し、支援の焦点を明確にした。

職員資質向上のため導入したオンライン研修により、自己研鑽が進んだ。今後は体系的な人材育成のため、同研修の活用方法を検討する。一方、法人内および施設内の研修については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施できなかった。

新型コロナウイルス感染症により未だ行動制限を受ける中、地元企業等と協力し、外出や食事で利用者の生活に潤いを持たせる取り組みができた。継続して施設内イベントでは利用者を楽しんでいただけるよう企画運営した。

新型コロナウイルス感染症について、集団予防接種、毎日の健康観察、標準的予防策を講じていたが、12月1日に利用者が発症すると、瞬く間に感染が拡大した。12月24日に収束宣言を発するまで別経路からの感染を含め、利用者31名、職員13名が感染した。この間法人内入所施設から併せて2名の職員の応援をいただいた。予定していた行事および会議の開催、会合等への派遣は中止した。収束宣言を出すまでの間、短期入所、生活介護（通所）、日中一時支援の受け入れを休止した。

地域で暮らす障害者を支える生活介護（通所）、短期入所、日中一時支援事業においては関係機関と連携し受け入れを行った。利用時に体調に異変があり、利用後に新型コロナウイルス感染症陽性が発覚したケースがあった。利用している他事業所内での感染があったことが、後になり報告された。双方安心して利用できるよう感染状況等を共有できる仕組みづくりが必要である。地域生活支援拠点等事業（緊急受け入れ）については、幸いにも利用者がなかった。共同生活援助利用者の日中活動支援の必要があり受け入れを継続した。

以下、令和4年度の事業を報告する。

## 1 . 寄附

### 寄附金

年 月 日	寄付者	金額
令和5 . 3 . 23	株式会社アムズ様、株式会社第四北越銀行様	50,000円
計	1件	50,000円

## 2 . 施設入所支援

### 2-1 利用者の状況（令和5年3月31日）

#### ① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	長岡市	計（名）
男性	24		2	26
女性	17	2		19
計	41	2	2	45

② 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計(名)
男性						5	10	6	2		3	26
女性			1		2		6	1	2		7	19
計			1		2	5	16	7	4		10	45
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	83歳6ヵ月			41歳1ヵ月			51歳5ヵ月			53歳3ヵ月		
女性	76歳3ヵ月			25歳10ヵ月			55歳7ヵ月					

③ 障害支援区分別人数

平均 5.56

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性					7	19	26
女性				1	11	7	19
計				1	18	26	45

④ 療育手帳所持者

種別	A	B	計(名)
男性	24	2	26
女性	15	4	19
計	39	6	45

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

	聴覚	言語	肢体不自由			計(名)
			上肢	下肢	体幹	
男性		1	1	2	2	6
女性	1	1	3	4	1	10
計	1	2	4	6	3	16

⑥ てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	双極性障害	計(名)
男性	13	11		1	25
女性	7	4	2		13
計	20	15	2	1	38

⑦ 成年後見制度利用者数

	親族後見	第三者後見	計 (名)
男性	2	3	5
女性		2	2
計	2	5	7

⑧ 介護保険関係

	特養等 待機者	要介護認定者 (要介護)					計 (名)
		1	2	3	4	5	
男性	1		1	1	1	1	4
女性	4	1	2	2	1	1	7
計	5	1	3	3	2	2	11

2-2 利用者の動向

令和4年11月 4日男性利用者1名が特別養護老人ホーム入居のため退所した。

令和5年 2月21日女性利用者1名が特別養護老人ホーム入居のため退所した。

2-3 利用実績

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能者数 (人・日)	延べ利用者数 (人・日)	利用率	平均利用者数 (人/日)	
50	47	365	18,250	16,131	88.4%	44.2	
昨年度	50	48	365	18,250	16,283	89.2%	44.6

3 .生活介護

57名の方よりご利用いただいた。男性1名がグループホーム入居に伴うサービスの見直しにより利用を終了した。この男性は短期入所を併用していた。

3-1 通所利用者の状況

① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計 (名)
男性	5		1	6
女性	3			3
計	8		1	9

② 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計 (名)
男性			1	2			1			1	1	6
女性			1				1	1				3
計			2	2			2	1		1	1	9
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	70歳10か月			25歳7か月			44歳9か月			43歳11か月		
女性	54歳0か月			28歳9か月			43歳11か月					

③ 障害支援区分別人数

平均 4.56

区分	1	2	3	4	5	6	計 (名)
男性				4		2	6
女性				2	1		3
計				6	1	2	9

④ 療育手帳所持者

種別	A	B	計 (名)
男性	5	1	6
女性	1	2	3
計	6	3	9

⑤ 身体障害の状況 (身体障害者手帳所持者)

身体障害者手帳を取得している者の利用はなかった。

⑥ てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	双極性障害	計 (名)
男性	1	2			3
女性					
計	1	2			3

3-2 利用実績

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能者数 (人・日)	延べ利用者数 (人・日)	利用率	平均利用者数 (人/日)
50	56	269	13,450	12,559	93.4%	46.7
昨年度	50	269	13,450	12,826	95.4%	47.7

### 3-3 日中活動

個々に意思表示された希望される活動内容の提供に努めるとともに、加齢に合わせたプログラムの拡充を図った。

運動班および創作班において、在籍はいずれか一方としたが、参加については利用者の希望やニーズにより臨機応変に対応した。

#### ① 運動班（男性13名、女性8名、計21名）

歩行時には安全確保や体調の留意に努めた。各々の必要とする運動量の確保を目標に有効的に時間配分した。利用者の状況に応じ職員配置および活動内容に配慮した。

#### ② 創作班（男性14名、女性12名、計26名）

利用者個々の独創的な作品作りについて継続支援する傍ら、壁面装飾に向けた作品作りも支援した。季節を感じられる装飾は人の目に触れる機会も多く、それが更なる制作意欲向上につながった。

#### ③ ゆったり班

高年期或いは身体機能または認知機能の低下が懸念される利用者を主な対象として月1～4回活動した。楽しく身体を動かし、効果的な刺激を受けることのできる内容を実施した。毎回15名前後の利用者が参加している。

#### ④ 手づくりおやつ会

女性利用者の調理のニーズをもとに立てられた個別支援計画に則り、参加者から希望メニューを募り、機会を提供した。調理後は会食を楽しんだ。管理栄養士と支援課職員が連携して支援した。12月は新型コロナウイルス感染症集団感染により休止した。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
参加者	9	9	9	7	9	8	8	8		9	9	9	94

#### ⑤ ハートフルデイ

月	イベント内容等	
4	午前； DVD鑑賞・カラオケ	午後； DVD鑑賞
5	午前； パズルで顔当てゲーム	午後； 「何が出るかな？」サイコロゲーム
6	午前； 小道具等を使って写真撮影	午後； DVD鑑賞
7	終日； 打ち上げよう！松風花火2022（制作）	
8	午前； クリームソーダづくり	午後； DVD鑑賞
9	午前； うちわで紙コップを落とそうゲーム	午後； 紙芝居
10	終日； 秋祭り	
11	午前； 魚釣り・宝探し・サイコロ投げ	午後； 昔の写真を楽しもう（映写会）
12	新型コロナウイルス感染症集団感染により中止した	
1	午前； プリン・ア・ラ・モードづくり	午後； 松風紅白歌合戦
2	午前； みんなでDVD鑑賞	午後； 男女対抗フライングディスク大会
3	午前； 春の装飾づくり・絵カードづくり	午後； カラーリング

3-4 保健衛生

① 検診および予防接種

年 月 日	項 目	人数	内容 (対象者)
令和4 4 . 14	新型コロナウイルスワクチン追加接種	44	入所利用者
4 . 26	同上 (会場 ; さざなみ学園)	2	入所利用者
4 . 28	同上 (会場 ; 松波の里)	1	入所利用者
5 . 27	前立腺がん検診	13	50歳以上男性
6 . 30	乳がん検診	3	女性3名
7 . 4	健康診断	47	全員
8 . 8	大腸がん検診	14	40歳以上
10 . 5	歯科検診	44	全員
11 . 10	インフルエンザ予防接種・健康相談	23	入所利用者
11 . 24	インフルエンザ予防接種・健康相談	23	入所利用者
R5 . 1 . 19	新型コロナウイルスワクチン (オミクロン株対応) 接種	44	入所利用者

② 入院 (年齢は入院当時のもの)

利用者	年齢	医療機関	症状	期間	日数
男性A	40	柏崎厚生病院	てんかん	4 . 1 ~ 4 . 12	12
女性B	75	柏崎総合医療センター	新型コロナウイルス感染症	12 . 2 ~ 12 . 14	13
男性C	51	新潟病院	新型コロナウイルス感染症	12 . 3 ~ 12 . 7	5



③ 通院（小児科は精神科として計上した。合計の括弧内は昨年度の員数を示す）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計（名）	
精神	男	15	13	11	15	13	15	13	12	10	14	12	18	161	279
	女	14	9	8	8	10	8	10	12	11	7	10	11	118	(234)
内科	男	1	4	1	7	5	3	5	4	2	2	2	4	40	115
	女	9	6	5	4	12	7	6	6	3	3	7	7	75	(134)
外科	男	1		1	2		2	1					1	8	15
	女	2					1			1	1		2	7	(10)
整形	男		1	2	3	4			1		1	2	4	18	36
	女	1	1	1	2	1	3	4	1	1	2	1		18	(45)
脳外	男	1												1	1
	女														(2)
歯科	男	1	1	2	1	2	2	2	3			2	4	20	44
	女	4	1		2	2		2	4		4	1	4	24	(35)
眼科	男														5
	女			1	1		1		1		1			5	(4)
耳鼻科	男	1	1	1		1	1		1	1	4	1	1	13	27
	女	2	1	2		2	1		1		1	2	2	14	(44)
皮膚	男	1	1	2	1	2	4	2	1		1	3	1	19	54
	女	3	4	1	2	1	4	2	2	4	5	3	4	35	(43)
婦人	男														19
	女	2	2	3	1	2	1	1	3	1	2		1	19	(19)
泌尿器	男				1		1							2	17
	女	1		3	1	1	2	1	1	3	1		1	15	(17)
急外	男														
	女														(1)
循環	男														1
	女		1											1	(1)
リハ	男			1										1	33
	女	2	1	4	3	5	2	3	3		2	3	4	32	(14)
合計	男	21	21	21	30	27	28	23	22	13	22	22	33	283	646
	女	40	26	28	24	36	30	29	34	24	29	27	36	363	(603)

### 3-5 行事

新型コロナウイルス感染症の影響で、園内行事について中止または実施形態を変更して実施した。形態を変更して実施する中で、利用者の楽しみ方が理解でき、次年度以降の行事の開催方法について検討した。

#### 園内行事

年	月	日	行事	内容
令和4.	4.	20	松風テイクアウト	市内飲食店の昼食選択
	6.	8	松風カフェ	市内喫茶店のケータリングサービス
	6.	16	松風えんま市	露店風ゲーム、おやつ選択
	10.	27	秋祭り	お菓子取り競争、大抽選会、クレープケータリング
	11.	30	松風テイクアウト	市内飲食店の昼食選択
	12.	23	クリスマス忘年会	サンタクロースによるプレゼント配付
令和5.	1.	13	新年会	お正月遊び、職員による出しもの
	2.	3	節分	年男年女による鬼退治
	3.	3	ひな祭り	希望者へのメイクアップ

#### 招待行事

今年度招待を受けた行事はなかった。

### 3-6 外出

新型コロナウイルス感染症について十分な予防策を講じて外出することが困難で、多くの外出を自粛した。

#### ① グループ外出

外出先と新型コロナウイルス感染症感染予防策について十分協議したうえ、配慮のもと旬を楽しむ外出を企画した。

年	月	日	行事	内容（会場）
令和4.	6.	2	いちご狩り	ファームくじらなみ 利用者5名 職員3名
	6.	8	いちご狩り	ファームくじらなみ 利用者6名 職員4名
	9.	6	ぶどう狩り	ぴあパークとうりんぼ 利用者4名 職員2名
	10.	3	芋掘り	ぴあパークとうりんぼ 利用者4名 職員2名
	10.	6	芋掘り	ぴあパークとうりんぼ 利用者3名 職員2名

#### ② 有償ボランティアによる外出

新型コロナウイルス感染症の影響で外部ボランティア受け入れの自粛ならびに外出の自粛により実施しなかった。

#### ③ 希望外出

外出しないことで情緒の安定を欠き、本人が生命の危険にさらされる、または他者の生活に支障を来す利用者に対し、個別支援計画に則り外出を支援した。外出時は新型コロナウイルス感染症感染予防策を講じた。

利用者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(回)
男性A	30	31	30	31	31	30	31	30	8	31	28	31	342
女性B	4	4	4	4	5	4	4	5	1	4	4	3	46
計	34	35	34	35	36	34	35	35	9	35	32	34	388

### 3-7 自治会活動

利用者一人一人が生活に意欲を持ち、役割を務め協調することにより、充実感のある暮らしの実現をめざして自治会の活動を支援した。

「生活の支援」や「保健衛生」と連動し、3カ月ごとの生活目標を掲げ、心身とも望ましい生活習慣の喚起に努めた。

毎月1回午前に自治会役員会を開催して、生活目標についての反省や発表、各係からの連絡、週番の情報交換、行事や食事に関する意見聴取等を行った。特に食事に関しては、管理栄養士も自治会に参加し、利用者の希望・要望を把握し、食事メニューに反映させた。利用者の意思表示および意思決定の過程を尊重した。

利用者の誕生日にはプレゼントと誕生カードを贈呈し、祝福した。

年度末には次年度の役員選出を支援した、同月に総会を開催し、役員の交代について承認を得た。

#### ① 組織

利用者の代表によって、運営される自治会役員会の組織は以下のとおりである。

役職	員数	役員	役割
会長	1	女性A	利用者を代表する。 役員会の司会進行等を担当する。
副会長	1	男性B	会長を補佐する。 会長不在時の役員会の司会進行等を担当する。
寮長	2	男性C 女性D	各寮を代表する。
食事係	1	女性E	献立表の記入を担当する。
清掃係	2	男性F 女性G	月ごとの大掃除の連絡や用具の点検および補充を担当する。
掲示係	1	女性H	行事の案内や連絡等の掲示や装飾を担当する。

#### ② 奉仕活動参加状況

年 月 日	行事	内容
令和4. 6. 5	クリーンデイ柏崎	利用者2名 職員1名

#### ③ 選挙への投票

自治会役員会等を通じて選挙の告知に努めた。

5月24日女性1名が令和4年新潟県知事選挙期日前投票を行った。

7月10日女性1名が参議院議員選挙期日前投票を行った。

#### 4 .短期入所・日中一時支援

##### 4-1 短期入所

5名からご利用いただいた。児童の利用はなかった。男性1名（生活介護を併用）がグループホーム入居、男性1名が施設入所により利用を終了した。

##### 4-1-① 利用者の状況

##### 1) 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計（名）
男性	3		1	4
女性	1			1
計	4		1	5

##### 2) 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計（名）
男性				2		1			1			4
女性			1									1
計			1	2		1			1			5
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	57歳3か月			32歳2か月			41歳8か月			39歳1か月		
女性	28歳9か月						28歳9か月					

##### 3) 障害支援区分別人数

平均 4.20

区分	1	2	3	4	5	6	計（名）
男性				3	1		4
女性				1			1
計				4	1		5

##### 4) 身体障害の状況（身体障害者手帳所持者）

身体障害者手帳を取得している者の利用はなかった。

##### 5) てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	双極性障害	計（名）
男性	1	3			4
女性					
計	1	3			4

4-1-② 利用実績

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能者数 (人・日)	延べ利用者数 (人・日)	利用率	平均利用者数 (人/日)	
5	5	365	1,825	118	6.5%	0.3	
昨年度	5	10	365	1,825	241	13.2%	0.7

4-2 日中一時支援

11名からご利用いただきました。児童の利用はなかった。男性2名がサービスの見直し、男性1名が養護老人ホーム入居により日中一時支援の利用を終了した。

4-2-① 利用者の状況

1) 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計 (名)
男性	6			6
女性	5		1	6
計	11		1	12

2) 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計 (名)
男性			1	1		1	1				2	6
女性			2	2			1	1				6
計			3	3		1	2	1			2	12
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	72歳6か月			25歳6か月			48歳10か月			43歳0か月		
女性	54歳0か月			28歳4か月			37歳3か月					

3) 障害支援区分別人数

平均 4.25

区分	1	2	3	4	5	6	計 (名)
男性			3		1	2	6
女性		1		3	1	1	6
計		1	3	3	2	3	12

4) 身体障害の状況 (身体障害者手帳所持者)

身体障害者手帳を取得している者の利用はなかった。

5) てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	双極性障害	計 (名)
男性	1	3			4
女性	1	1			2
計	2	4			6

4-2-② 利用実績

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能者数 (人・日)	延べ利用者数 (人・日)	利用率	平均利用者数 (人/日)
5	12	365	1,825	380	20.8%	1.0
昨年度	5	13	365	1,825	22.7%	1.1

5 .給食

利用者一人一人に栄養ケア計画書を作成し、それに沿った食事提供、食事支援に努めた。また、栄養状態のリスクに応じて、サービス管理責任者等の関係職種と定期的にモニタリングを行った。

① 給与栄養量

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)		カルシウム (mg)
					食物繊維 (g)	
数値	1,897	69.8	57.1	285.5	18.0	549
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	レチノール (μg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数値	8.3	588	1.09	1.06	100	11.0

② 食品構成 (単位 ; g)

食品	穀類		いもおよび でんぷん類	砂糖および 甘味料	豆類	果実類
	米類	小麦類 (その他)				
数値	186.3	112.9	46.4	4.1	336	1.4
食品	野菜類		果実類	きのこ類	藻類	魚介類
	緑黄色野菜	その他野菜				
数値	122.7	229.1	65.3	24.6	2.1	52.1
食品	肉類	卵類	乳類	油脂類	菓子類	嗜好飲料類
数値	86.6	26.8	169.3	8.3	31.3	144.7
食品	調味料および 香辛料類	調味加工 食品類	※日本食品標準成分表2020年版 (八訂) 記載に準ずる			
数値	401.8	14.7				

③ 食事時間と形態

食事	時間	形態
朝食	7:30 ~ 9:00 (8:00)	1週間のうち3回パン食
昼食	11:15 ~ 13:00 (11:45)	1週間のうち2回麺食
間食	15:00	菓子、お茶
夕食	17:30 ~ 19:00 (18:00)	米飯
夜のお茶	20:00	麦茶

④ 形態調整食と病態食

種類	人数
ミキサ一食	2
刻みトロミ食	3
刻み食	3
一口カット食	22

⑤ 行事食（毎月のハートフルデイの昼食は、誕生月利用者の希望献立とした）

月	行事	献立
4	ハートフルデイ	ヒレカツ丼、みそ汁、菜の花からし和え、ババロア
5	お楽しみランチ	醤油ラーメン、えびチャーハン、しゅうまい、いちごババロア
	ハートフルデイ	五目いなり、清汁、いものみどころがし、菜の花お浸し あんみつ
6	ハートフルデイ	ヒレカツ丼、みそ汁、菜の花からし和え、ババロア
7	ハートフルデイ	ごはん、みそ汁、唐揚げ、春雨サラダ、スイカ
8	セレクトランチ	ナポリタンまたはオムライス、オニオンスープ ブロッコリーのサラダ、デザート
	ハートフルデイ	ホットドッグ、野菜のコンソメスープ、フライドポテト チョコババロア
9	ハートフルデイ	たまごサンド、ツナサンド、ポトフ、野菜サラダ、ぶどう
10	秋祭り	醤油ラーメン、焼きそば、カレーライス（セレクト） フライドポテト・唐揚げ、五目いなり、ミニケーキ
11	ハートフルデイ	ネギトロ丼・みそ汁・がんも含め煮・柿
12	ハートフルデイ	カツカレー・ひじきサラダ・いちごババロア
	クリスマス忘年会	チキンドリア・ミネストローネ・エビフライ・サラダ りんごのコンポート
1	新年会	中華風炊き込みご飯・雑煮・刺身盛り合わせ・伊達巻・黒豆 紅白なます・松風焼き・茶わん蒸し・杏仁豆腐
	ハートフルデイ	ロコモコ丼、コーンポタージュ、温野菜ドレッシング和え みかん
2	節分	五目いなり・鬼除け汁・かぶのエビあんかけ・菜の花お浸し ロールケーキ
	ハートフルデイ	コーンクリームスパゲティ・オニオンスープ・コールスロー ピーチゼリー
3	ひな祭り	海鮮ちらし寿司・清汁・茶わん蒸し・春菊の塩昆布和え 抹茶プリン
	ハートフルデイ	チキンライス・ミルクスープ・菜の花ツナサラダ・オレンジ

## 6 . 防災・防犯

### 6-1 災害防護訓練

訓練形態	回数
火災時の避難訓練	5
夜間を想定した火災時の避難訓練	3
地震後、津波を想定した避難訓練 ※地震後に火災発生を想定	1
近隣施設「松波の里」「さざなみ学園」との連携による火災時の避難・救助訓練	1
原子力災害時における避難訓練（フィルタリングシステム作動、防護服着用訓練）	2
計	12

### 6-2 防犯対策

平成大橋交番に定期的なパトロールの継続を依頼した。

## 7 . 職員の配置状況

職種	員数	区分				備考
		常勤		非常勤		
		専従	兼務	専従	兼務	
園長	1		1			社会福祉士 1名
サービス管理責任者	1	1				社会福祉士 1名
支援員	24	14	4	6		社会福祉士 4名 精神保健福祉士 1名 介護福祉士 2名 保育士 3名
医師（嘱託）	3				3	
看護師	3	1		2		正看護師 1名 准看護師 2名
栄養士	1	1				管理栄養士 1名
事務員	2	1	1			
清掃員	2			2		
計	37	18	6	10	3	

### 職員の動向

令和4年 4月 1日パート支援員1名を採用した。

令和4年11月 1日臨時支援員1名を採用した。

令和5年 3月31日支援員1名が退職した。

## 8 . 職員研修

### 8-1 内部研修

#### ① 法人内事業所研修

法人内事業所合同の研修は前年度同様開催を見合わせた。



② 施設研修

年 月 日		参加者
令和4 . 7 . 11 7 . 21 8 . 8	オムツのあて方講習会 花王プロフェッショナルサービス 永野和美様 若月さやか様	10

8-2 外部研修（会場の記載のないものはオンラインで受講した）

年 月 日		参加者
令和4 . 7 . 13	COVID-19 集団感染が発生した病院・施設における管理	1
8 . 10	新潟県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修	1
8 . 16	第33回グループホーム等研修会～北海道大会～	1
9 . 17	高齢知的・発達障害者の生活と変化	2
9 . 15	第22回摂食嚥下機能向上に関する研修会	3
9 . 23	新潟県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 〈新潟県立看護大学〉	1
令和5 2 . 15	中越地区サービス管理責任者ネットワーク現任研修会	2
2 . 17	新潟県コロニーにいがた白岩の里全体研修	1
3 . 1	新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修	5
3 . 7	若年性認知症支援者研修・支援ネットワーク会議	2

8-3 柏崎刈羽地域自立支援協議会への職員派遣

年 月 日		参加者
令和4 . 9 . 12	はじめましてをなくそう！見学・体験の仕組みづくりプロジェクト	1
令和4 . 11 . 7	障害児入所施設の新たな移行の枠組み構築に関する勉強会	1

9 . ボランティアの受け入れ

名称	人数	回数	内容
刈羽ライオンズ	9	1	園周辺整備

10 . 視察・研修・慰問の受け入れ

年 月 日	内容	人数
令和4 . 5 . 31 ～ 6 . 2	新潟県立はまなす特別支援学校 高等部2年生 令和4年度（前期）「現場等における実習」	生徒1名

## 11 .実習の受け入れ

年 月 日	日数	学校・学年・性別	種類	人数
令和4. 5. 30 ～ 6. 10	10	長岡こども医療介護専門学校 こども保育幼稚園科 2年 女性	保育実習	1
5. 30 ～ 6. 10	10	新潟こども医療専門学校 こども学科 2年 女性	保育実習	1
10. 3 ～ 10. 14	10	長岡こども医療専門学校 介護福祉科 1年 女性	介護実習	1

## 12 .保護社会活動

### ① 専門部

専門部	部員数	活動内容
研修部	9	今年度の研修開催を見合わせた。
広報部	5	広報かがやき60号、61号を発行した。
行事部	15	秋祭り中止により活動を休止した。
菜園部	13	活動を休止した。今年度で廃部した。

### ② 環境整備活動

園内外の環境整備活動を行った。

〈活動状況〉

年 月 日	参加者	活動内容
令和4. 5. 28	保護者25名ボランティア1名職員4名	外壁洗浄・除草・生垣剪定等
10. 1	保護者18名ボランティア1名職員4名	冬囲い・除草・中庭整備等

### ③ 松風さぼーたー

保護者有志によるボランティア組織「松風友の会」が木曜日および祝日午前中の洗濯物整理の応援を「松風さぼーたー」と呼び、以下の活動を展開した。

〈内容〉

- a) 人数 8名
- b) 時間 9:00～11:00
- c) 活動 洗濯物の整理

〈参加状況〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
参加者	5	5	5	5	4	6	5	5	1	5	4	3	53

## 13 .苦情相談

法人が定める「社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニーの提供する福祉サービスにかかる苦情解決体制整備等に関する規程」により、苦情解決の責任体制を明らかにし、相談に関する環境を整備した。今年度は苦情の申し立てはなかった。今後も利用者をはじめ関係者の意見を傾聴し、真摯に対応する。

## 14 .事業計画等に対する評価

### ① 新型コロナウイルス感染症禍における利用者の生活の質

3年目を迎えた新型コロナウイルス感染症により、各種活動の自粛あるいは規模の縮小を継続した。利用者の生活に潤いをもたらすべく、方法を検討し、利用者を楽しんでいただくことができた。利用者の楽しみ方も変化を受け入れており、次年度以降の行事計画に反映する。取り組みの中で利用者の意思表示・意思決定の機会を確保し、利用者個々の意思確認方法も検討が進んだ。

### ② 感染症標準的予防策と新型コロナウイルス感染症集団感染

新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症について予防接種や、標準的予防策を講じ、併せて感染症対策を施設内研修で学んでいた。しかし、12月1日に利用者新型コロナウイルス感染症陽性者が発生すると2週間弱の間に利用者31名が罹患した。集団感染の収束宣言までの間、別ルートからの感染を含む職員13名が罹患した。法人内入所施設からの応援職員と事業所内他部署の職員の協力により機能不全に陥ることは回避できた。先に集団感染に見舞われた法人内入所施設の経験を共有できていたことは大きな助けとなった。2月にバックアップするグループホーム1棟でも感染者が発生したが、施設内感染は最少にとどめることができた。

### ③ 人材育成と業務の効率化

強度行動障害支援者養成研修を計画的に受講した。支援手順書の更新に活かすことができた。今後もその知識および手法を利用者支援に活かしていく必要がある。今年度より法人で導入したサポーターズ・カレッジのオンライン研修を有効に活用することができた。今後、本研修をどのように人材育成に活用していくか、具体的に検討する必要がある。更新要件が変化している資格について、法人内の人材管理計画が必要である。

虐待防止チェックリストについてGoogleフォームを活用し、集計作業の簡易化を図った。また、3月に開催した法人内サビ管等連絡会議は、当初からZoomでの開催を予定した。開催当日施設内で新型コロナウイルス感染症集団感染下にあった施設の職員も参加でき、予定どおり意見交換を行うことができた。

### ④ 地域で暮らす障害者への支援

2名の施設入所支援利用者が特別養護老人ホーム入所のため退所した。短期入所利用者2名が居住の場を確保し、利用を終了した。バックアップするグループホーム利用者1名が次の居住の場を確保し退所した。

前年度から始まった地域生活支援拠点等事業における緊急受け入れは今年度も要請がなかった。